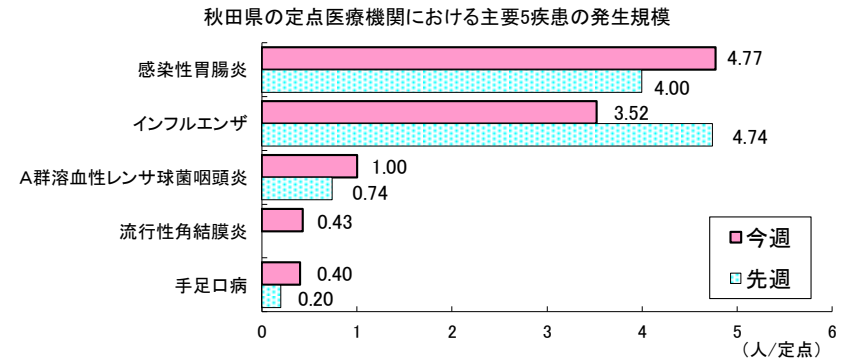




【第8週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、大館、北秋田、由利本荘、大仙、横手、湯沢で増加、秋田市、能代、秋田中央で減少しています。
2. インフルエンザは、県全体で26%減少しています。保健所別では、大館で増加、北秋田で同規模、秋田市、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.4倍に増加しています。保健所別では、北秋田、秋田中央、大仙で増加、横手で同規模、秋田市、大館、湯沢で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減			
RSウイルス感染症	0.06	0.09	↗																0.25	↗				0.67	↗	0.50	↘			
インフルエンザ	4.74	3.52	↘	7.09	4.82	↘	5.00	7.86	↗	2.33	2.33		10.75	6.00	↘	8.83	6.00	↘	2.67	1.50	↘	0.57	0.43	↘	1.80	0.20	↘	2.20	0.40	↘
咽頭結膜熱	0.17	0.03	↘	0.43		↘	0.25		↘										0.50	0.25	↘									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.74	1.00	↗	1.43	1.00	↘	0.50		↘		0.50	↗				2.00	4.25	↗				0.25	1.50	↗	0.67	0.67		0.75	0.50	↘
感染性胃腸炎	4.00	4.77	↗	7.86	7.00	↘	4.25	5.50	↗	4.00	8.00	↗	4.00	1.67	↘	4.75	4.50	↘	0.25	1.00	↗	2.25	3.50	↗	3.00	6.00	↗	2.50	5.25	↗
水痘	0.09	0.14	↗	0.14		↘											0.25	↗	0.50		↘		0.25			0.33	↗		0.25	↗
手足口病	0.20	0.40	↗	0.71	1.57	↗																		0.67	1.00	↗				
伝染性紅斑	0.06	0.03	↘		0.14	↗										0.50		↘												
突発性発しん	0.20	0.23	↗	0.57	0.14	↘	0.25		↘		1.50	↗							0.25	0.50	↗						0.25	0.25		
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎		0.43	↗		1.00	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.13	0.13									1.00	↗				*	*					1.00		↘						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大館保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の水痘(入院例に限る)が横手保健所管内から1人、梅毒が秋田市保健所管内から2人、百日咳が大館保健所管内から2人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-7週	8週	
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	2073	8	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	16		
	腸管出血性大腸菌感染症	155	5	1
	腸チフス	4		
	パラチフス	1		
四類	E型肝炎	70	1	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	27		
	エキノコックス症	4		
	黄熱			
	オウム病	2		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	4		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	(人)		
		1週-7週	8週	
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	2		
	つつが虫病	54		
	デング熱	22		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	3		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア	7		
	野兔病			
	ライム病	1		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
類鼻疽				
レジオネラ症	187	2		
レプトスピラ症	1			
ロッキー山紅斑熱				
五類	ア메ーバ赤痢	66		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	25		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	183		
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	4		
	急性脳炎	169	4	
	クリプトスポリジウム症	1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	16		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	132	1	
	後天性免疫不全症候群	120		
	ジアルジア症	2		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	89		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	7		
	侵襲性肺炎球菌感染症	417	3	
	水痘(入院例に限る)	60	2	1
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	669	4	2
	播種性クリプトコックス症	15	1	
	破傷風	9		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	12		
	百日咳	1057	3	2
風しん	44			
麻しん	4			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1			
指定	新型コロナウイルス感染症	105		

トピック

<マイコプラズマ肺炎について>

マイコプラズマ肺炎は、1年を通じて発生しますが、晩秋から早春にかけて患者報告数が多くなります。また、周期的に大きな流行が起きる傾向にあり、近年では2011年から2012年と2015年から2016年に大きな流行がありました(図)。今冬はこれまでのところ報告数の大きな増加はみられませんが、前回の流行から4年が経過しており、今後の発生動向に注意が必要です。

■症状

感染すると2～3週間の潜伏期間を経て、発熱、全身倦怠感、頭痛、痰を伴わない咳などの症状がみられます。咳は熱が下がった後も長期(3～4週間)にわたって続くのが特徴で、この期間も病原体が咳のしぶきの中に排出されます。中耳炎、心筋炎、髄膜炎、脳炎などを併発することもあります。

■予防

マイコプラズマ肺炎に対するワクチン(予防接種)はありません。主な感染経路は、患者の咳やくしゃみのしぶきを吸い込むことによって感染する飛沫感染や接触感染のため、手洗い等の感染予防対策を心がけましょう。咳の症状がある場合は、マスクをするなどの「咳エチケット」を心がけ、感染拡大防止に努めましょう。

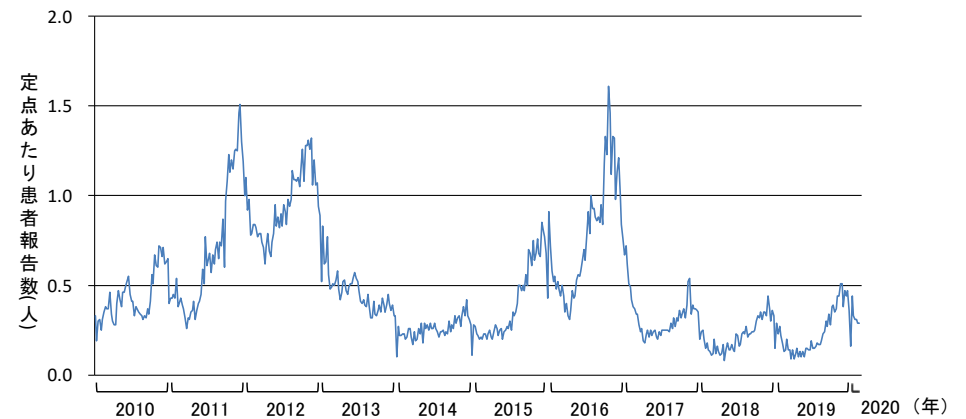


図 全国におけるマイコプラズマ肺炎患者報告数(2010年1週～2020年7週)



2019年/2020年シーズン (2019年第36週：9月2日～)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

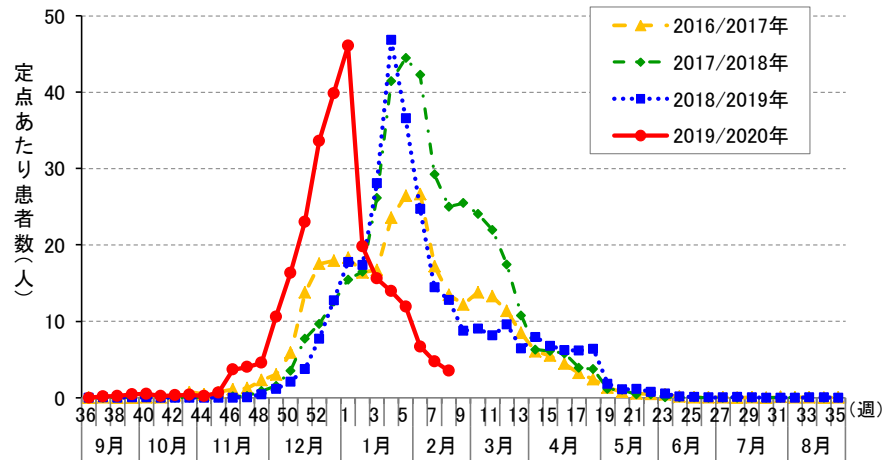


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生の報告が2件ありました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	型
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	鹿角市	錦木保育園	2/17	80名のうち 12名	24名のうち 1名	13名	2/14 ~ 2/17	B
2	秋田市	ふじ保育園	2/18	136名のうち 11名	32名のうち 1名	12名	2/14 ~ 2/18	B

【インフルエンザの集団発生状況】

○今シーズン(2月23日時点)の報告数

112施設:社会福祉施設18、保育所等93、病院1

※社会福祉施設(老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設)等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

インフルエンザ入院サーベイランス

表 2019/2020シーズン 秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)					
秋田県			全国		
2/10～2/16 (7週)	2/17～2/23 (8週)	累計	2/3～2/9 (6週)	2/10～2/16 (7週)	累計
9	4	311	465	335	12,417

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。



感染性胃腸炎情報

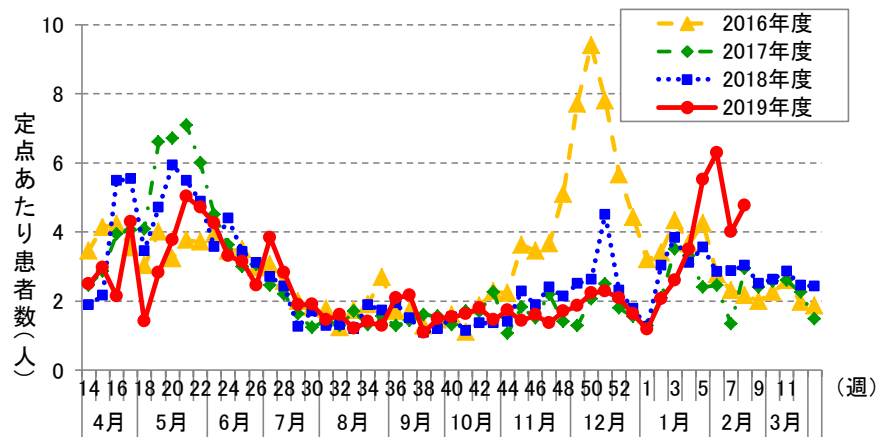


図 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

感染性胃腸炎の集団発生発生状況

感染性胃腸炎の集団発生報告が6件ありました。

No.	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児、入所者等)	職員	計			
1	潟上市	昭和こども園	2/17	159名のうち 12名	57名のうち 0名	12名	2/13 ~ 2/17	下痢、嘔吐	ノロウイルス検出
2	横手市	旭保育園	2/19	102名のうち 15名	24名のうち 2名	17名	2/13 ~ 2/19	嘔吐、下痢	ノロウイルス検出
3	湯沢市	おがち保育園	2/19	122名のうち 13名	28名のうち 0名	13名	2/15 ~ 2/19	嘔吐、下痢	ノロウイルス検出
4	八峰町	沢目子ども園	2/20	39名のうち 15名	18名のうち 0名	15名	2/14 ~ 2/20	発熱、嘔吐、下痢	ノロウイルス検出
5	秋田市	特別養護老人ホーム新成園	2/21	65名のうち 9名	68名のうち 2名	11名	2/12 ~ 2/21	嘔吐	ノロウイルス検出
6	湯沢市	湯沢保育園	2/21	120名のうち 11名	32名のうち 1名	12名	2/19 ~ 2/21	嘔吐、下痢	ノロウイルス検出

【感染性胃腸炎の集団発生状況】

○2019年度(2月23日時点)の報告数

53施設: 社会福祉施設4、保育所等46、病院1、その他2

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

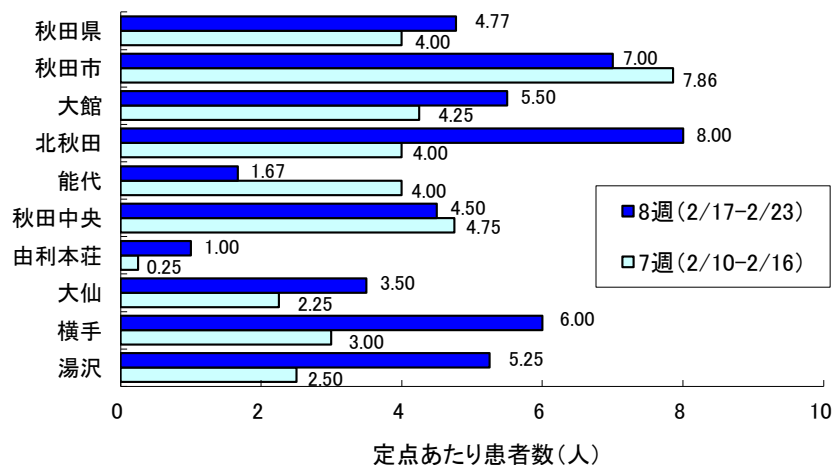


図 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		